

# シニア活動プラザ・オープン記念講演会

「期待されるシニア世代の社会貢献」

講師

シニア元気笑学校

名誉校長

渡辺

源治

氏



## シニア活動プラザオープン記念講演会を開催

平成25年4月1日に一関市シニア活動プラザが「なのはなプラザ」にオープンしました。

オープンを記念した講演会を仙台市から渡辺源治さん（シニア元気笑学校名誉校長）を講師にお迎えし、川崎公民館ホールで開催しました。演題は「期待されるシニア世代の社会貢献」。高齢化社会の課題、人とつながる方法、地域活動を楽しむためなどの内容で、分かりやすくユーモアを交えたお話に、市内外から参加した150人の皆さんが熱心に聞き入りました。

シニア活動プラザでは、今後、シニアの皆さんの社会参加、社会貢献活動に役立つ様々な講座・セミナーを開催するほか、窓口での無料相談、情報提供、仲間づくりのお手伝いなどを通じて、シニアの皆さんを応援してまいります。年末年始を除く毎日、午前9時から午後6時までオープンしておりますので、ぜひ一度、なのはなプラザ3階のシニア活動プラザにおいでください。

ふれあいネットワーク

いのせき

社協  
だより

第27号

[2013年6月15日発行]



この広報は共同募金の一部をあてて発行しております。

平成24年度は、一体感の醸成に努めつつ、基本理念（ビジョン）『支えあい 幸せ感じる 地域の暮らし』に基づいて、生活に役立つ福祉サービスの提供、住民が安心して暮らすことができる地域社会の構築に努めた。また、事業推進に当たり、基本理念、基本方針に基づき次の項目を実践目標として展開した。

### (1) 地域福祉の推進

市民の社会参加の促進とボランティア意識の醸成を図りながら、住民相互で支え合う互助・共助の精神を高め、地域を支える仕組みの構築に努めた。また、社協の事務事業の円滑な推進を図るため、福祉委員である行政区長、民生児童委員等の協力を得て、社協会費及び募金、福祉事業の調査、連絡調整などにより社協業務の推進と地域福祉の増進を図った。

### (2) 子育て支援

子育て環境が徐々に変化しつつあることを踏まえ、子育てサロン事業に取り組むとともに、ファミリーサポートセンター事業等の利用促進を図り、子育て支援ネットワークの拡大に努めた。

### (3) 相談、支援体制

心配ごと相談所などで適切な相談業務を行い、関係機関と連絡を密にしながら問題解決にあたった。また、判断能力が不十分な方への福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理などを行う日常生活自立支援事業や、障害者や家族に対し、地域における生活を支援するための障害者支援プラザの活用を促進する等、相談支援機能の充実に努めた。

### (4) 介護保険事業及び障害者の自立支援

介護保険事業の制度改正に伴い、医療と介護の機能分化・連携等について、介護職員の研修を行いサービスの質の向上と経営基盤強化に努めた。また、地域包括ケアシステム構築推進のため、高齢者総合相談センターしぶたみとはないずみを経営し、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるようサービス体制の確保に努めた。就労継続支援事業施設千厩ワークプラザの作業活動の充実に努め、適切な支援を提供するよう努めた。

新たに、一関障害者生活支援プラザ事業として、指定一般相談支援事業、指定特定相談支援事業、障害児相談支援事業の検討を行った。

(5) 人口減少や高齢化に加え、混迷する時代に対応するため、情報提供の場としての社協だよりの充実と学習の機会として講座を開催した。

### (6) 災害支援

ボランティアバスの運行とお茶っこ交流会を行った。

## 地域福祉事業

### (1) 小地域福祉推進事業

地域の人々が安心して豊かな生活ができるような地域福祉を期するため、地区福祉活動推進協議会、自治会の自主的な福祉活動を支援するため、活動助成金を交付した。

・交付金額 26地区 91行政区 7,843,200円

### (2) ふれあいサロン事業

小地域を単位として、高齢者等の生きがい作りや、寝たきり・閉じこもり予防活動を目的に定期的に開催し、地域住民が主体となり実施したサロンに対し、活動助成した。

・助成サロン数 334ヶ所（実施回数 3,561回）

### (3) 子育てサロン事業

地域住民やボランティアが主体となり、孤立しがちな子育て家庭の育児不安の解消に資するとともに、当事者同士がふれあい仲間づくりを行う活動に対し活動助成した。

・助成サロン数 15ヶ所（参加者数 295人）

### (4) 子育て支援事業（受託事業）

一関市ファミリーサポートセンターにおいて、育児の援助を行う方（協力会員）と、育児の援助を受ける方（依頼会員）、双方を兼ねる方（両方会員）を組織化し、育児に関する相互援助活動の支援を行った。また、子育て支援の相談・情報提供、保育

ボランティアの派遣、子育て支援の講師として職員を派遣した。

・会員数 447人 ・活動件数 1,635件

・子育て支援件数 1,991件

### (5) 講演会の開催

地域福祉に関する情報の提供と学習機会を設定するため、一関公民館、いちのせき市民活動センターと共催し、一関市総合福祉センターを会場に開催した。

### (6) 社協ふくし祭り「ゆいっこ広場」の開催

市民と福祉関係者等とのふれあいの場を設け、互いの理解を深め、誰もが安心して暮らせるまちづくりに努めるため、ボランティア活動の啓発をすすめながら、福祉まつりを開催した。

・開催日 平成24年9月30日(日)

・テーマ 「森と川が育む—生命の共生をめざしたまちづくり」

・内容 基調講話、福祉ふれあい写真・福祉川柳コンクール、地域活動・地場製品の展示、太鼓演奏、保育園児のお遊戯、中学校吹奏楽、よさこい演舞など伝統芸能の発表、炊出し訓練、農産物販売、むし菌相談他

・会場 一関市役所室根支所 特設会場

・来場者数 400人（関係者含）

### (7) 第7回一関市社会福祉大会

平成24年7月27日(金) 午後1時30分

藤沢文化センターにおいて福祉関係者など500名が参加して行われた。

### (8) 社協だよりの発行

全戸配布 年4回発行

### (9) ホームページの開設

一関市社会福祉協議会ホームページを開設し活動紹介を行った。

・総閲覧件数 27,783件

### (10) ボランティアセンター事業

#### ① ボランティアセンター運営委員会の開催

平成24年7月19日

・一関市ボランティアセンター運営委員長および副委員長の互選について

・平成24年度一関市ボランティアセンター事業について

・一関市災害ボランティアセンターについて

平成25年3月8日

・一関市災害ボランティアセンターについて

・一関市ボランティアセンターの支部組織について

・平成25年度一関市ボランティアセンター事業計画案について

#### ② ボランティア保険の加入

ボランティア活動をする際に安心して活動が行えるように「ボランティア活動保険」等の手続を行った。

・ボランティア活動保険 2,745人

・ボランティア行事用保険 68件（5,248人）

・送迎サービス補償 1件（61人） ・有償活動保険 11人

#### ③ ボランティア協力校の指定

一関市内の小・中・高等学校の児童・生徒を対象として、ボランティアへの理解と関心を高め、ボランティア活動、社会連帯の精神を養うとともに、児童・生徒を通じて家庭および地域社会への啓発を図ることを目的に、ボランティア協力校19校を指定した。

#### ④ ボランティア講座の開催

I ボランティアスクール（中高生）の開催

（20年度より統一事業）

夏休み期間を利用し、中学生及び高校生が様々なふれあい体験を通して、ボランティア活動の理解とボランティア精神を醸成することをねらいに実施した。

・参加者数 20人

## II 高校生保育ボランティア体験の開催

子育て支援活動への参加を通して、ボランティア活動への関心を高めるとともに、いのちや家庭の大切さについて理解を深めることを目的として開催した。

- ・開催回数 2回
- ・参加者数 11人

### ⑤ 一関市災害ボランティアセンターの活動状況について

一関市との連携のもと「一関市災害ボランティアセンター」を平成23年3月に開設し、ボランティア活動情報を発信するとともに、ボランティア登録及びボランティア派遣調整・相談支援を行った。(災害ボランティアセンターを経由して活動したボランティア活動者数 延べ1,647人。—平成23年3月から平成25年3月までの延べ人数—)

※注 災害ボランティアセンターを経由しないで、NPO・団体等で活動した方は含みません。

#### ア. 陸前高田市への災害支援ボランティアバスの運行

- ・平成24年4月18日～平成24年12月19日
- ・延べ20日(うち悪天候による中止1日)
- ・市民を中心に延べ262人を派遣

#### イ. お茶っこ交流会(市内に避難されている方の交流会)への傾聴ボランティアを派遣

- ・平成24年4月23日～平成25年3月15日 延べ21日
- ・傾聴ボランティア29人が対応

#### ウ. 災害ボランティアに関する情報提供

#### (1) 社協ホームページトップページに災害ボランティア・災害支援活動情報ページを追加

- ① 「災害ボランティア」アクセス件数  
延べ9,586件(3月末現在)
- ② 「お茶っこ交流会」アクセス件数  
延べ528件(3月末現在)

#### (2) ホームページの補足・更新情報として、ツイッターによる情報を追加

災害ボランティアの情報ページに「ボランティアセンターTwitter」欄を設け、ツイッターでホームページの補足・更新情報の埋め込み表示ができるようにした。

### (11) 心配ごと相談所

日常生活の心配ごと、悩みごと等を気軽に相談できるよう相談員を委嘱し相談、援助に努めた。また、花泉、大東、千厩、藤沢の各支部を会場に移動相談所を開設した。

- ・開設日数 50日
- ・移動相談日数 6日
- ・相談延人数 54人
- ・相談延件数 204件

### (12) 生活福祉資金貸付事業

低所得世帯や障害のある方、介護を要する高齢者等が同居する世帯に対して、経済的自立と生活意欲の助長、社会参加の促進を図るため、低い金利(一部無利子)で、岩手県社協から貸付を行った。

- ・貸付件数 59件
- ・貸付金額 45,181,000円

### (13) たすけあい金庫貸付事業

失業や疾病等による一時的収入減等により、生活維持が困難になった世帯に対し、一時資金として無利子で貸し付けを行った。(限度額50,000円)

- ・貸付件数 21件
- ・貸付総額 844,000円

### (14) 日常生活自立支援事業(受託事業)

福祉サービスを自ら選択したり、福祉サービス提供事業者と契約することの判断能力が不十分な方に対し、利用手続きの援助や代行、公共料金の支払いなど、本人の日常生活の自立を支援した。本協議会は西磐井及び東磐井の広域を担う「基幹社協」と位置付けられている。このため、専門員1人が配置され、生活支援員として一関支部5人、6支部・平泉町に各2人、藤沢町3人、合計22人を委嘱し、利用者の支援に努めた。

- ・相談援助延件数 687件
- ・利用援助契約者数 56件

### (15) 敬老会(受託事業)

多年にわたり社会に尽くしてきた高齢者を敬愛し、長寿を祝う敬老会を敬老の日の前後に地区ごとに当祝者15,587人を招待し開催した。

### (16) 在宅介護者リフレッシュ事業

在宅で寝たきり高齢者や重度障がい者の介護をされている方々の交流と、日頃の介護疲れを癒し、心身ともにリフレッシュを図るため集いを開催した。

- ・1泊2日 東鳴子温泉「旅館大沼」 34人
- ・日帰り 平泉温泉元湯「ホテル武蔵坊」 42人

### (17) ひとり暮らし高齢者の集い事業

65歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、高齢者の親睦交流等を図ることを目的に開催した。

### (18) 障がい者生活支援事業(受託事業)

一関障害者生活支援プラザにおいて、福祉サービスの利用援助、社会資源の活用や生活力を高めるための支援、ピアカウンセリング、介護相談及び情報の提供等を行った。また、本人参加のケア会議を開催し、処遇困難ケースについては一関地区障害者地域自立支援協議会のサービス調整会議で解決した。

- ・相談件数 1,460件

### (19) 手話通訳者等派遣事業(受託事業)

一関市内の聴覚障害者等が意思疎通に支障のある時、手話を介したコミュニケーションを行うことにより、聴覚障害者等の社会参加の促進及び交流活動の充実を図るため、手話通訳者等の派遣コーディネーターおよび相談支援を行った。

- ・派遣延べ人数 93人

### (20) 外出支援サービス事業(受託事業)

在宅の寝たきり高齢者等の移動困難者を対象に医療機関や福祉施設への通院、通所、入退所の外出支援を行った。

- ・稼働時間 1,664時間51分
- ・延利用人数 600人

### (21) 車いす貸出し事業

高齢者や障害者の生活を援助するため、外出時等に車いすを貸し出した。

- ・保有台数 193台
- ・利用人員 145人

### (22) 緊急連絡カード設置事業

緊急時に連絡が必要と認められるひとり暮らし高齢者等に作成配布し、民生委員の協力により、安全・安心を図るため、住み慣れた家庭や地域で、緊急時の見守り活動を行った。

- ・配布枚数 3,025枚

### (23) 福祉団体等助成事業

福祉団体等の活動を円滑に推進するため、各団体の活動を助成した。

- ・35団体 842,000円

### (24) ボランティア団体等助成事業

ボランティア団体等の活動を円滑に推進するため、各団体の活動に助成した。

- ・5団体 2,681,000円

### (25) 食の自立支援事業(受託事業)

概ね65歳以上のひとり暮らし高齢者、高齢夫婦、障害者等を対象に、食事を自宅に届け、食の自立を支援し、併せて安否確認を行った。

支 部	登 録 者 数	配 食 総 数
大 東	11人	1,141食
千 厩	37	3,515
藤 沢	26	1,052
合 計	74	5,708

### (26) 生活支援事業(受託事業)

一関市内に避難されている方の生活支援相談を行うため、生活支援相談員を2名配置し、被災者の生活再建や生活相談等に努めた。

① 一関市保健師によるみなしの仮設等の訪問による重点訪問世帯の抽出が行われており、調整をしながら世帯への訪問を行うこととした。

② 被災者サロン参加者を中心に訪問活動を行っている。被災者サロンに欠席者がいた場合には、健康状態の把握のため訪問活動も行った。

- ・訪問世帯数 111世帯
- ・見守り強化世帯数 17世帯

**(27) ふるさとお茶っこ交流会事業**

沿岸部等から避難されているみなし仮設住宅等の被災者交流の場を提供することで、心のケアや近隣とのコミュニティ形成などを目的に開催した。

- ・開催回数 21回
- ・延参加者数 363人 (302世帯)

**(28) 災害見舞金**

罹災世帯に対し見舞金を贈った。

- ・19件 300,000円

**(29) 共同募金事業への協力**

**① 赤い羽根共同募金結果**

赤い羽根共同募金運動は、10月1日から目標額を達成するため、支部ごとに運動を展開した結果、厳しい社会情勢が続く中ではあったが、住民各位のご協力により、目標を達成することができた。この共同募金運動による配分金は、岩手県共同募金会を通じて県内の民間福祉施設、福祉団体、社会福祉協議会等の地域福祉事業の貴重な財源となった。

- ・実績額 20,211,505円

**② 歳末たすけあい募金結果**

「みんなでささえあうあったかい地域づくり」をスローガンに、募金運動を展開し、戸別、職域、学校募金などが寄せられ、生活困窮世帯、ひとり暮らし高齢者、母子・父子世帯、寝たきり高齢者、認知症高齢者、障害児(者)を重点に、一関市社会福祉協議会が民生児童委員の協力により配分したほか、施設にも配分した。

- ・実績額 21,759,798円
- ・配分実績 3,481件 20,000,365円

平成24年度実績額と配分額の差額1,759,433円は、いったん岩手県共同募金会に送付し、次年度の一関市社会福祉協議会の地域福祉事業、在宅福祉サービス等の事業費として配分を受けるものです。

**在宅福祉事業**

**(1) 地域包括支援センター事業 (受託事業)**

高齢者がいつまでも住み慣れた地域で安心して生活していけるよう、介護・福祉・保健・医療などさまざまな面から総合的に支えるために、花泉、大東、東山地域を担当する地域包括支援センターを一関地区広域行政組合から委託を受け運営した。

	花泉地域	大東・東山地域	合計
介護予防プラン	2,160	3,634	5,794
内委託件数	1,375	1,983	3,358
二次予防プラン	48	71	119
総合相談件数	161	240	401
実態把握件数	57	167	224

**(2) ヘルパーセンター (介護保険事業)**

要介護及び要支援と認定された高齢者等に対し、訪問介護員が家庭を訪問して、日常生活の家事援助や身体介護を行った。

	花泉	大東	東山	室根	合計
延訪問回数	27,965	5,404	5,652	6,343	45,364
延利用人数	1,475	529	444	381	2,829
軽減者	19	18	34	0	71

**(3) 介護支援事業所 (障害者自立支援事業)**

障害者の方に対し、訪問介護員が家庭を訪問し、日常生活の家事援助や身体介護を行った。

	花泉	大東	東山	室根	合計
延訪問回数	4,538	813	1,437	161	6,949
延利用人数	195	112	82	14	403

**(4) 訪問入浴センター (介護保険事業)**

在宅で自力入浴が困難な方に、特殊浴槽を搭載した車で訪問し、入浴介護を行った。

	大東	東山	合計
延訪問回数	1,503	845	2,348
延利用人数	285	198	483

**(5) デイサービスセンター (介護保険事業)**

日帰り施設介護サービス。自宅からの送迎・入浴・昼食・余暇活動等のサービスを行い、一日を楽しく過ごせる通所支援を行った。

	大東	興田	東山	室根	合計
延利用回数	7,667	7,452	5,993	3,068	24,180
延利用人数	1,173	1,186	972	591	3,922
軽減者	5	14	37	1	57

**(6) ケアプランセンター (介護保険事業)**

依頼を受けてケアマネジャーが利用者宅を訪問し、ケアプランの作成や介護に関する相談等の支援を行った。

	花泉	大東	興田	東山	室根	合計
延利用件数	1,250	1,673	1,570	1,123	1,080	6,696

**(7) 在宅介護支援センター (受託事業)**

介護予防・生活支援等の総合相談、高齢者の実態把握、介護保険対象外の方への支援を行った。

	興田	東山	合計
延利用件数	140	118	258

**(8) 生活支援福祉サービス事業 (受託事業)**

65歳以上の高齢者や介護認定非該当者等を対象に生きがい支援として、次のサービスを提供した。

\*生活管理指導員派遣事業

訪問介護員が訪問し家事援助等のサービスを提供した。

	花泉	大東	東山	室根	合計
延訪問回数	0	154	39	53	246
延利用人数	0	26	9	12	47

\*生きがいデイサービス事業

入浴、昼食、余暇活動を行いながら生活指導を行った。

	大東	東山	室根	合計
延利用回数	81	2	517	600
延利用人数	20	1	135	156

**(9) 高齢者健康づくり教室事業 (ふれあい入浴サービス) (受託事業)**

各地区老人クラブ単位に入浴サービスや健康チェック、余暇活動等を提供し健康維持増進を図った。

	大東
実施回数	54
延利用人数	596

**(10) 障害者地域生活支援事業 (補助事業)**

在宅障害者の健康保持・生活支援を目的に、訪問入浴サービスを提供した。

	大東	東山	合計
延訪問回数	146	129	275
延利用人数	24	24	48

**(11) 生活介護事業 (身体障害者等に対する生活介護事業) (デイサービス事業)**

在宅障害者に対し、昼間、入浴、排泄、食事の介助を行うとともに、創作的活動等の機会を提供した。

	東山
利用人数	1
延利用回数	102

**(12) 二次予防事業通所型介護予防事業 (受託事業)**

介護予防として、機能訓練・健康教育等を行い日常生活改善に向け運動機能の向上を図った。

	花泉	大東	東山	室根	合計
延実施回数	12	12	12	12	48
延利用人数	109	172	97	85	463

# 平成24年度 決算の状況

## 一般会計

### 資金収支計算書

(自)平成24年4月1日 (至)平成25年3月31日

[単位:円]

勘定科目		決算額	説明	
経常活動による収支	収入	会費収入	34,279,600 世帯会費・賛助会費	
		寄附金収入	17,495,127 福祉事業への寄附金(265件)	
		経常経費補助金収入	103,997,258 市補助金・県社協補助金	
		助成金収入	2,355,900 県社協助成金(被災者支援事業)等	
		受託金収入	89,891,345 市・県社協受託金	
		事業収入	13,737,000 参加費・利用料	
		貸付事業等収入	1,861,000 貸付償還金	
		共同募金配分金収入	33,809,414 一般・歳末配分金	
		介護保険収入	365,028,536 介護報酬・利用者利用料等	
		自立支援費等収入	24,560,080 介護給付費・利用者負担金等	
	支出	補助事業等収入	10,494,852 障害者相談支援事業等	
		雑収入	2,781,910 退職共済預け金差益・コピー代等	
		受取利息配当金収入	475,222 預金利子	
		会計単位間繰入金収入	2,937,000 公益事業特別会計より繰入	
		経理区分間繰入金収入	31,860,362 法人運営経理区分等より繰入	
		経常収入計(1)	735,564,606	
		人件費支出	409,252,020 職員給与・法定福利費・退職金等	
		事務費支出	45,827,035 水道光熱費・コピー機保守料等	
		事業費支出	123,882,194 福祉事業・介護保険事業	
		貸付事業等支出	844,000 たすけあい金庫貸付金	
支出	助成金支出	38,416,084 地区推進協・団体・サロン等助成金		
	負担金支出	6,610,400 敬老会開催負担金		
	会計単位間繰入金支出	9,030,303 公益事業特別会計へ繰出		
	経理区分間繰入金支出	31,860,362 福祉推進・共募配分事業へ繰出		
	経常支出計(2)	665,722,398		
	経常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	69,842,208		
	施設整備等収入	0		
	施設整備等支出	1,236,041	パソコン(3台)・電気湯沸器等購入	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-1,236,041		
	財務活動による収支	収入	積立金取崩収入	2,123,790 退職者分
収入	その他の収入	4,234,080 県社協退職共済金(退職者分)		
収入	財務収入計(7)	6,357,870		
支出	積立預金積立支出	0		
支出	その他の支出	5,135,250 県社協退職共済掛金		
支出	財務支出計(8)	5,135,250		
財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	1,222,620			
予備費(10)	0			
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	69,828,787			
前期末支払資金残高(12)	320,954,890	平成23年度繰越金		
合併受入支払資金(13)	1,093,290	〃 (旧藤沢町社協分)		
当期末支払資金残高(11)+(12)+(13)	391,876,967	平成24年度繰越金		

### 寄附金の使い道

[単位:千円]

地区福祉活動推進協議会助成	3,952
ふれあいサロン助成	2,078
福祉講演会、車輛燃料費、車イス購入等	1,424
食事・理髪サービス	1,657
福祉団体助成	616
被災者交流(お茶っこ交流会)、介護者リフレッシュ事業	591
ボランティア活動、見守り支援事業等	1,612
※次年度以降福祉事業へ繰越金	5,565
計	17,495

### 共同募金配分金の使い道

[単位:千円]

地区福祉活動推進協議会助成	2,479
ふれあいサロン助成	1,448
社協だより(年4回発行)	3,129
社会福祉大会	955
ボランティア協力校事業	655
団体助成	2,411
災害支援活動	996
ゆいっぴ広場、ひとり暮らし高齢者の集い	1,247
支部社協だより発行等	776
歳末たすけあい配分事業	19,713
計	33,809

### 貸借対照表

平成25年3月31日現在

[単位:円]

資産の部				負債の部			
科目	当年度末	前年度末	増減	科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	419,311,109	360,143,683	59,167,426	流動負債	27,434,142	38,095,503	△10,661,361
現金	500,000	500,000	0	未払金	22,563,449	32,856,897	△10,293,448
預貯金	325,597,794	256,785,697	68,812,097	預り金	4,870,693	5,031,106	△160,413
未収金	88,399,505	97,342,303	△8,942,798	前受金	0	81,200	△81,200
前払金	352,028	362,360	△10,332	仮受金	0	126,300	△126,300
会計単位外貸付金	4,461,782	5,153,323	△691,541	固定負債	94,203,035	93,233,655	969,380
固定資産	950,403,278	960,132,210	△9,728,932	退職給与引当金	94,203,035	93,233,655	969,380
基本財産	196,420,368	203,203,504	△6,783,136				
基本財産特定預金	8,000,000	8,000,000	0				
建物	187,713,380	193,479,320	△5,765,940	負債の部合計	121,637,177	131,329,158	△9,691,981
建物付属設備	706,988	1,724,184	△1,017,196				
その他の固定資産	753,982,910	756,928,706	△2,945,796	純資産の部			
建物	1,085,265	1,347,853	△262,588	基本金	8,000,000	8,000,000	0
構築物	1,126,591	1,236,338	△109,747	基金	320,000,000	320,000,000	0
車輛運搬具	2,221,242	3,936,755	△1,715,513	福祉基金	320,000,000	320,000,000	0
器具及び備品	7,491,614	8,255,742	△764,128	国庫補助金等特別積立金	136,191,909	141,849,059	△5,657,150
ソフトウェア	88,550	134,750	△46,200	その他の積立金	319,829,113	319,829,113	0
貸付事業等貸付金	7,937,500	8,954,500	△1,017,000	財政調整積立金	108,513,809	108,513,809	0
退職共済預け金	68,215,135	65,121,965	3,093,170	介護保険財政積立金	211,315,304	211,315,304	0
福祉基金積立預金	320,000,000	320,000,000	0	次期繰越活動収支差額	464,056,188	399,268,563	64,787,625
財政調整積立預金	108,513,809	108,513,809	0	次期繰越活動収支差額	464,056,188	399,268,563	64,787,625
介護保険財政積立預金	211,315,304	211,315,304	0	(うち当期活動収支差額)	(64,787,625)	(16,818,100)	(47,969,525)
退職金積立預金	25,987,900	28,111,690	△2,123,790	純資産の部合計	1,248,077,210	1,188,946,735	59,130,475
資産の部合計	1,369,714,387	1,320,275,893	49,438,494	負債及び純資産の部合計	1,369,714,387	1,320,275,893	49,438,494

脚注: 減価償却費の累計額 492,619,787円

## 公益事業特別会計

### 資金収支計算書

(自)平成24年4月1日 (至)平成25年3月31日

[単位：円]

勘定科目		決算額	説明
経常活動による収支	収入		
	助成金収入	106,240	福利厚生センター健診費助成
	受託金収入	31,500,000	市受託金(地域包括支援センター事業)
	介護保険収入	138,067,995	介護報酬等(訪問入浴・居宅介護支援介護等)
	補助事業等収入	3,437,500	訪問入浴サービス事業(障害者地域生活支援事業)
	雑収入	152,500	エコカー補助金(2台)等
	受取利息配当金収入	15,437	預金利子
	会計単位間繰入金収入	9,030,303	一般会計(居宅介護等・受託事業経理区分等)より繰入
	経理区分間繰入金収入	4,540,550	訪問入浴経理区分等より繰入
	経常収入計(1)	186,850,525	
支出	人件費支出	132,555,452	職員給与・法定福利費等
	事務費支出	3,163,527	介護システム・コピー機保守料等
	事業費支出	26,914,573	訪問入浴・居宅介護支援・地域包括支援事業費
	会計単位間繰入金支出	2,937,000	一般会計へ繰出
	経理区分間繰入金支出	4,540,550	訪問入浴経理区分へ繰出
	経常支出計(2)	170,111,102	
経常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		16,739,423	
に施設整備等による収支	収入		
	施設整備等収入計(4)	0	
	支出		
固定資産取得支出及び繰入支出	922,790	パソコン(3台)・軽自動車(中古)購入	
施設整備等支出計(5)	922,790		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		-922,790	
財務活動による収支	収入		
	財務収入計(7)	0	
	支出		
	その他の支出	2,038,350	県社協退職共済掛金
財務支出計(8)	2,038,350		
財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		-2,038,350	
予備費(10)			
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		13,778,283	
前期末支払資金残高(12)		56,722,956	平成23年度繰越金
当期末支払資金残高(11)+(12)		70,501,239	平成24年度繰越金

### 貸借対照表

平成25年3月31日現在

[単位：円]

資産の部				負債の部			
科目	当年度末	前年度末	増減	科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	83,941,255	69,148,721	14,792,534	流動負債	13,440,016	12,425,765	1,014,251
現金	0	0	0	未払金	8,978,234	7,272,442	1,705,792
預貯金	55,460,439	41,693,173	13,767,266	預り金	0	0	0
未収金	28,480,816	27,455,548	1,025,268	会計単位外借入金	4,461,782	5,153,323	△ 691,541
前払金	0	0	0				
				固定負債	0	0	0
固定資産	12,322,215	12,664,092	△ 341,877				
その他の固定資産	12,322,215	12,664,092	△ 341,877				
車輛運搬具	365,285	5	365,280				
器具及び備品	1,567,588	2,151,945	△ 584,357				
ソフトウェア	389,342	512,142	△ 122,800				
介護保険財政積立預金	10,000,000	10,000,000	0				
				負債の部合計	13,440,016	12,425,765	1,014,251
				純資産の部			
				その他の積立金	10,000,000	10,000,000	0
				介護保険財政積立金	10,000,000	10,000,000	0
				次期繰越活動収支差額	72,823,454	59,387,048	13,436,406
				次期繰越活動収支差額	72,823,454	59,387,048	13,436,406
				(うち当期活動収支差額)	(13,436,406)	(15,448,062)	(△ 2,011,656)
				純資産の部合計	82,823,454	69,387,048	13,436,406
資産の部合計	96,263,470	81,812,813	14,450,657	負債及び純資産の部合計	96,263,470	81,812,813	14,450,657

脚注：減価償却費の累計額 30,478,502円

# 千厩ワークプラザ特別会計

## 資金収支計算書

(自)平成24年4月1日 (至)平成25年3月31日

[単位：円]

勘定科目		決算額	説明
就労活動による収支	収入		
	就労支援事業収入	3,094,797	ウエス・木工・アウトドア用薪販売等
	就労支援事業収入計(1)	3,094,797	
	支出		
就労支援事業支出	3,094,797	利用者工賃・材料費等	
就労支援事業支出計(2)	3,094,797		
就労支援事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	0		
福祉事業活動による収支	収入		
	自立支援費収入	21,888,078	送迎加算・介護人材処遇改善加算
	利用者負担金収入	49,062	
	経常経費補助金収入	93,714	介護人材処遇改善加算(2か月分)
	雑収入	170,758	特定求職者雇用開発助成金等
	受取利息配当金収入	6,618	預金利子
	福祉事業収入計(4)	22,208,230	
	支出		
	人件費支出	11,218,543	非常勤職員給与・法定福利費等
	事務費支出	2,368,172	建物敷地・駐車場借上料等
事業費支出	4,389,721	業務委託費・車輛リース料等	
福祉事業支出計(5)	17,976,436		
福祉事業活動資金収支差額(6)=(4)-(5)	4,231,794		
施設整備等に よる収支	収入		
	施設整備等補助金収入	1,000,000	障害者自立支援基盤整備事業補助金
	施設整備等収入計(7)	1,000,000	
	支出		
その他の固定資産取得支出	1,756,650	自立支援システム一式購入	
施設整備等支出計(8)	1,756,650		
施設整備等資金収支差額(9)=(7)-(8)	-756,650		
財務活動に よる収支	収入		
	財務収入計(10)	0	
	支出		
	その他の支出	153,650	県社協退職共済掛金
財務支出計(11)	153,650		
動資金収支差額(12)=(10)-(11)	-153,650		
予備費(13)	0		
当期資金収支差額合計(14)=(3)+(6)+(9)+(12)-(13)	3,321,494		
前期末支払資金残高(15)	25,013,458	平成23年度繰越金	
当期末支払資金残高(14)+(15)	28,334,952	平成24年度繰越金	

## 貸借対照表

平成25年3月31日現在

[単位：円]

資産の部				負債の部			
科目	当年度末	前年度末	増減	科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	29,182,993	26,140,501	3,042,492	流動負債	848,041	1,127,043	△279,002
現金	30,000	30,000	0	未払金	848,041	1,127,043	△279,002
預貯金	25,480,806	19,542,478	5,938,328	預り金	0	0	0
未収金	3,672,187	6,568,023	△2,895,836				
固定資産	3,090,115	1,717,673	1,372,442	固定負債	0	0	0
その他の固定資産	3,090,115	1,717,673	1,372,442				
車輛運搬具	384,030	584,392	△200,362				
器具及び備品	978,712	1,133,281	△154,569	負債の部合計	848,041	1,127,043	△279,002
ソフトウェア	1,727,373	0	1,727,373				
				純資産の部			
				国庫補助金等特別積立金	2,110,441	1,386,831	723,610
				次期繰越活動収支差額	29,314,626	25,344,300	3,970,326
				次期繰越活動収支差額	29,314,626	25,344,300	3,970,326
				(うち当期活動収支差額)	(3,970,326)	(4,567,979)	(△597,653)
				純資産の部合計	31,425,067	26,731,131	4,693,936
資産の部合計	32,273,108	27,858,174	4,414,934	負債及び純資産の部合計	32,273,108	27,858,174	4,414,934

脚注：減価償却費の累計額 1,998,889円

# 支部通信

## 一関支部

### 第四十五回子ども森が 開催されました



学生や社会人たちが中心となり、子どもや障がいをお持ちの方たちとの交流活動を行っているボランティア団体、「一関世代にかける橋」が開催する第四十五回子どもの森が社協と教育委員会の後援の下、一関市山目公民館で開催されました。

一関世代にかける橋では、社会人たちが若い学生と共に活動し、次世代のリーダーを育てていくことでボランティア活動が引き継がれていることがこの団体のめざすところですよ。

毎年五月に行われる恒例の「子どもの森」は、学生が実行委員長となり、昔遊び（竹馬、竹ぼっくり、コマ回し）・段ボール迷路・ロケット飛ばし・玉入れ・魚釣りという様々な遊びを小さな子どもにどうしたら安全に楽しんでもらえるかを考え、また、子どもの森を楽しんだ子ども達も大きくなって運営する側になってくれればいいなあという期待も込め、子ども



の森に関わる学生、社会人の姿がありました。

「子どもの森」で楽しく遊んでいる幼児や小学生が喜んでくれてとてもうれしさと満足そうな学生ボランティア、そこに交わされる笑顔の輪。そこには運営側と参加者が一緒になり、皆が楽しむ「子どもの森」が創られていました。

## 花泉支部

### おいしい味噌を手作りで！

花泉支部では二十四年度、ふれあいサロン事業に四十六集落を指定し活動支援しました。その中から、涌津地区白浜第一集落にあるひまわり倶楽部（代表 岩瀬美代子さん）の活動の様子をご紹介します。

二月二十一日、十四人参加。昨年初めて取り組んだ味噌作りが好評で、また今年も作ることにになり、この日を迎えました。当日は柔らかく煮た大豆一升分を持ち寄り、ていねいにつぶして、麴と塩を混ぜ合わせ、桶につめ込みます。作業をしながら昨年の味噌のおいしさを語り

合い、みんなと一緒に作ることの楽しさを実感していました。

その後、昨年の味噌を使って具たくさん豚汁をおいしくいただきました。この日仕込んだ味噌は、一年くらいねかせるとおいしく食べられるそうです。参加者からは早くも、来年もとの声があがっています。



代表に今後の課題を聞いたところ、参加者をもっと増やしたいとのこと。サロン前にはチラシを作り、班ごとに連絡員が参加の呼びかけをしています。近所の方はぜひ、ご参加下さい。

## 大東支部

### 皆で取り組む認知症予防

～ふれあいサロンで学ぶ～

四月十八日、大東町猿沢の台ヶ丘自治会館を会場に、ふれあいサロン「気ままの会」で、認知症予防についての学習会が開催されました。

当サロンでは毎年、サロン会員が元気に楽しく健康な生活を過ごせるよう「健康と介護予防」をテーマに学習会を行っています。

今回は、高齢者総合相談センターしぶ



予防対策が紹介されました。

サロン代表者からは、「今回の講話を聞いて、認知症についての関心が高まりました。会員からの要望もあり、これから認知症予防のため、サロンでウォーキング交流会を企画し実施したい。」と、認知症予防のための活動に意欲が高まる学習会となったようです。

## 千厩支部

### 『千厩ワークプラザ』の活動から

◇屋外訓練事業へお花見

四月二十二日、水沢公園で利用者の皆さんが待ちに待ったお花見を行いました。今年も、天候不順などによる桜の開花の遅れを心配しながらの開催でしたが、三分咲きの可憐な花の下で、ささやかな弁当や団子をほおばり、昼食後は自由散策、歌や昼寝など短い時間ではありましたがそれぞれが思い思いに過ごし、心癒される一日になりました。

## ◇ふれあいのスポーツ広場奥州大会

五月二十日、奥州市体育館で開催されたこの大会は、自動車総連結成二十周年を機に、福祉カンパ金より(公財)国際障害者年記念ナイスハート基金に活動資金を拠出し、参加型福祉活動として各県で開催されているものです。

今年、岩手県が会場となったことで当事業所にも招待があり、利用者・職員二十二名で参加しました。



ロープ送りや風船バレー、民謡歌手等によるアトラクションなど「汗・出会い・笑顔・感動」を味わって頂きました。自動車総連の皆様にご心から感謝申し上げます。

## 東山支部

### よりよいサロン活動に向けて

～ふれあいサロン代表者交流会開催～

三月二十六日(火)東山保健センターにおいて、ふれあいサロン代表者交流会を開催しました。交流会には、東山地域で活動する十九のサロンのうち十七の代表者等三十九人が参加。

はじめに、いちのせき元気な地域づくり



事業で実施した「ふれあいサロンサポーター養成講座」の修了者によるレクリエーションの紹介があり、会場は参加者の笑顔であふれました。その後、なかなか雰囲気の中のでそれぞれのサロンの具体的な活動内容の発表、今抱えている課題等についての意見交換を行いました。

新年度、東山支部ではサロンで使用するレクリエーション用具を購入することにしております。多くのサロンでの利用をお待ちしています。

## 室根支部

### 被災者との交流会!

～「むろね一本桜の会」～

室根町折壁仮設住宅(旧折壁小学校跡地)の敷地内にあるソメイヨシノ桜(樹齢約百四十年)は、今年も満開に花開き、被災者の心を和ませました。

去る五月四日、「むろね一本桜の会」(小山謂三会長)が中心となって桜の鑑賞会が開催され、気仙沼市の被災者と地域住民とが一本桜を囲み交流しました。今回で二年目となる、この交流会(お花見会)には、地元団体の売店や、B級

グルメのハラミ焼き等が出店し大いに賑わい、和太鼓やよさこい演舞が会場を盛り上げ、参加者は共に楽しいひと時を過ごしました。

同会による病害虫駆除などの樹木の保護活動によって今年も見事に咲いた桜は、地域の象徴となっており、その風雪に耐えて咲き続ける一本桜の姿は被災者を励まし、同会の地道なボランティア活動をこれからも見守り続けることでしょう。



ライトアップされた一本桜

## 川崎支部

### 笑顔で触れ合った

～子育てサロン～

川崎町の子育てサロン「キューピーサロン」が開催されました。

会場の川崎防災センターには、親子でボールをコロコロ転がしたり、高く投げ飛ばしたりと、自由に遊び回っている子ども



たちの賑やかな歓声が聞かれました。

初めてのお子さんでも人見知りすることもなく、仲良く自由に遊ぶ様子に、お世話の方もお心ななほしていました。

今回の「キューピーサロン」では、町外から初めて参加した親子もありましたが、会話も弾み時間がアツという間に過ぎたようです。お母さんたちも元気に遊ぶお子さんの笑顔に「にこにこ」これを機会にママ友に……と、和やかな時間を過ごすことができました。

「キューピーサロン」は就学前のお子さん対象ですが、絵本の読み聞かせや歌の体操など、いろいろな遊びを通して、親子の交流や育児不安の解消のための子育て支援と仲間づくりを行う場を提供しております。

保育士や経験豊富なボランティアの方々が、お世話をしますから、お子さんと安心して過ごすことができますので、一緒に遊んだり歌ったりしませんか、ちびっ子の参加をお待ちしております。

## 藤沢支部

### 伝承活動を通して世代間交流

（チャリティショー）

藤沢黄海地区で伝承されてきた地域の文化遺産である神楽、民謡、舞踊などの郷土民俗芸能の愛好者が集い、その技を広く紹介することにより、地域の歴史文化への理解や、高齢者の生きがいづくり、世代間交流を行うことを目的に「第二十七回郷土民俗芸能発表会チャリティショー」が五月二十六日、藤沢公民館黄海分館体育館において開催されました。主催は黄海神楽保存会で、黄海民謡舞踊愛好会と十三区花嫁道中愛好会が共催しました。出演内容は、黄海神楽保存会による黄海鶏舞神楽・段事前踊り、民謡愛好会による



民謡・舞踊、花嫁道中愛好会による舟と馬との花嫁道中祭り・長持唄・俵積み唄、黄海こども園園児による出演など、地域の特色溢れるもので、来場した三百名の観衆を楽しませました。交流を図りながらも見事な演技を披露した出演者の皆さんは

## 地域活動団体紹介

### 一関市愛育会

～ほこり息・喫茶ぶくぶく～

昭和三十六年に知的障がい者やその家族の社会参加・自立支援を目的に設立した一関市愛育会。現在では賛助会員・特別会員を含め八十五名の会員となり、音楽交流会や福祉まつり等の行事への参加、研修会の開催等、ボランティアや関係機関、多くの人々に支えられ、幅広く活動が展開されております。

中でも、中心的事業の一つとして、一関市総合福祉センター一階に知的障がいを持つ当事者を雇用し、経営している「喫茶ぶくぶく」があります。営業時間は平日十時～十五時、軽食等を提供しており、休憩や待ち合わせの場としても幅広く活用されております。福祉センター利用団体の利用が多く、時には座席もありません。賑わいを見せることもあります。当事者であり店員の山口和歌さんのオス

互いの健闘を讃え合い、次の発表に向けて更なる意欲を見せていました。チャリティショーの益金は、主催者代表の佐川公郎さんから、社会福祉協議会藤沢支部長に社会福祉に役立てて欲しいと寄附として手渡されました。



スメメニューはハヤシライス。同会長の佐藤沃さんは「知的障がい者はもちろん、親会員も集まって情報交換の場としても重宝している」と語り、副会長兼喫茶ぶくぶく主任の菅原久子さんは「こは市民の憩いの場で、とてもよい雰囲気」と語ります。喫茶ぶくぶくではコーヒーター等も準備しておりますので、お気軽にお立ち寄りください。

## “支えあい 幸せ感じる 地域の暮らし”

### 生活支援相談員のご紹介

一関市社会福祉協議会では、平成二十四年度から生活支援相談員を設置し、東日本大震災で被災し避難をされているご家庭を訪問したり、沿岸避難者等の交流事業として『ふるさとお茶っ交流会』を開催し、交流の場づくりを行っております。

『寄り添い、一緒に歩いて行こう』を行動目標に、二名の生活支援相談員が被災者支援活動を行います。オレンジ色のウエアと元気な声が目印です。気軽に声がけください。

連絡先：〇一九一―二三一六〇二〇

生活支援相談員 平野・菊地

相談時間：午前九時～午後五時

（土・日・祝日はお休みです）



# 赤い羽根共同募金による助成事業助成団体紹介

- ◎ 「平成24年度共同募金による平成25年度施設整備費」
  - ・NPO法人 響生 車輛整備事業 1,350,000円
  - ・社会福祉法人 一関市社会福祉協議会 エレベーター制御盤交換工事 2,700,000円
- ◎ 「平成24年度共同募金による平成25年度福祉のまちづくり支援事業」  
(「誰もが安心して暮らせる 福祉のまちづくり」活動に必要な機器等の整備資金の支援)
  - ・一関市室根町第20区自治会 200,000円
  - ・大里自治会 200,000円
  - ・岩手県視覚障害者福祉協会一関支部 192,000円
  - ・花泉声の新聞 116,000円
- ◎ 赤い羽根災害ボランティア・NPO活動サポート募金助成事業「住民支え合い活動助成」  
(東日本大震災による被災者支援のために、岩手県内で支え合い活動を行う住民団体やボランティアグループ、NPO法人等(住民5人以上で構成されている非営利団体)への活動支援)
  - 平成24年度
    - ・手作りオカリナ支援の会 100,000円
  - 平成25年度(5月31日現在)
    - ・手芸サークルなでしこ 98,000円
    - ・手作りオカリナ支援の会 100,000円
    - ・ひまつぶ詩カフェ 100,000円

助成申請に関する要綱、様式等は、岩手県共同募金会のホームページ(<http://www.akaihane-iwate.or.jp>)をご覧頂くか、社会福祉協議会各支部にお問い合わせ願います。

自分ひとりで判断することが不安な方へ

## 「あんしんねっと(日常生活自立支援事業)」

社会福祉協議会では、判断能力に不安がある方でも安心して地域での生活が送れるよう、福祉サービスの手続きや日常の金銭管理、書類の保管などのお手伝いを実施しています。

### 利用できる方

- たとえば、認知症の高齢者、知的障がい者、精神障がい者など、判断能力が充分でないため
- ◎福祉サービスの利用のしかたがわからない
  - ◎日常的な金銭管理(預貯金の出し入れ)が上手くできない
  - ◎公共料金、医療費の支払いができない
  - ◎お金を計画的に使えない
  - ◎書類や印鑑をしまい忘れる 等

### 受けられるサービス

- 福祉サービスの利用援助
  - ◎福祉サービス利用に関する情報提供、相談
  - ◎福祉サービスの利用料の支払いお手伝い
- 日常的な金銭管理
  - ◎税金、公共料金の支払い手続き
  - ◎医療費の支払い手続き
  - ◎預貯金の出し入れ、解約手続き
- 書類等の預かり
  - ◎預貯金通帳、印鑑、証書などの預かり

### サービスの利用料

- 相談は無料
- サービスは有料
  - 1回、1時間あたり1,300円かかります。
  - 生活保護を受けている方は無料です。



### 判断能力がなくなった場合

「あんしんねっと」は、ご本人に契約の意思があり、契約の内容が理解できる方が対象です。  
契約できるだけの判断能力がなくなった場合には、「成年後見制度」など別な制度につなげます。

# まごころ寄附

平成25年3月から平成25年5月末までに、市民の皆様からご寄附がありました。

## 本部

花泉字袋 花沢流岩手支部 番扇会様 100,000円

## 一関支部

滝沢字寺下 秋元已由様 200,000円

## 花泉支部

油島字砂押 菅原えいこ様 タオル 105枚 おしぼり30枚  
油島字北ノ沢 佐藤勇一様 50,000円  
永井字粒乱田 秋山潤様 100,000円  
涌津字後山 岩渕鉄郎様 100,000円  
老松字下汁足 小野寺豊様 50,000円  
油島字表谷地 佐々木政昭様 50,000円  
涌津字向川 岩渕正司様 100,000円

## 大東支部

摺沢字羽根折沢 菊池芳子様 雑巾51枚  
大原字大平 藤原守夫様 50,000円  
猿沢字山滝 千田逸次様 30,000円  
浜民字佐野脇 及川賢治様 50,000円  
猿沢字山崎 相沢俊一様 30,000円  
摺沢字礼田 小山恵子様 100,000円  
沖田字八日町 小山奨様 30,000円  
摺沢字羽山前 岩渕正巳様 50,000円  
一関市三関字白崎 及川清一様 30,000円  
鳥海字小森 佐藤昇様 30,000円  
〃 〃 履くパンツ160枚 尿とりパット216枚  
猿沢字荒谷 小野寺金一様 30,000円  
大原字堰ノ上 熊谷勇雄様 50,000円  
大原字若宮 佐藤壽子様 30,000円  
鳥海字向前畑 皆川八男様 50,000円  
大原字長泉寺先 長泉寺様 車イス1台  
中川字豊石 鈴木正様 50,000円

## 千厩支部

東山町長坂 関水書道会様 80,000円  
千厩字北ノ沢 金野富雄様 100,000円  
奥玉字女聖 金野寿満様 50,000円  
磐清水字胡桃館 菅原弘太郎様 100,000円

## 東山支部

長坂字里前 菅原重夫様 100,000円  
松川字滝ノ沢平 千葉常有様 100,000円  
松川字野平 安東ツネ様 50,000円  
千厩町 琴城流大正琴東磐井支部 支部長 小野寺京子様 30,000円  
松川字滝ノ沢平 鈴木実様 100,000円  
長坂字里前 老人クラブ長友会 那須セツ子様 雑巾 100枚  
小野寺生子様  
長坂字柴宿 老人クラブ長久会 会長 那須政之助様 タオル100枚  
東山町 一関市東山赤十字奉仕団 小野寺節子様 タオル 55枚  
匿名 100,000円

## 室根支部

折壁字大里 及川明宏様 100,000円  
津谷川字浮野 及川太郎様 10,000円  
折壁字愛宕下 小山慶弘様 30,000円  
矢越字五反田 吉田道義様 100,000円  
折壁字上前木 齋藤時夫様 20,000円  
津谷川字浮野 芳賀理喜男様 リクライニング車イス1台  
矢越字大洞 小岩清実様 50,000円  
折壁字三峯 千葉裕司様 50,000円  
折壁字樋口 小松一郎様 30,000円  
折壁字大里 藤代光男様 50,000円  
矢越字山口 小野寺拓子様 30,000円

## 藤沢支部

藤沢字町裏 千葉卓弥様 50,000円  
西口字東小戸沢 千葉夏代子様 100,000円  
黄海字川口沖 膝館一章様 100,000円  
黄海字天沼 岩渕三泰様 100,000円  
保呂羽字嶺沢 山口政志様 50,000円

## まごころ寄附の使いみち

皆様から頂いた、まごころ寄附は、「小地域福祉推進事業（地区福祉活動推進協議会等への助成）」 「ふれあいサロンへの助成」「ボランティア事業」など地域福祉を推進するための貴重な財源となっております。

6月 社協だよりの発行 7月 第8回一関市社会福祉大会 の事業費の一部に使われます。

ホームページに関する  
お問い合わせ先

社会福祉法人 一関市社会福祉協議会ホームページ  
http://www.ichinoseki-shakyo.com/ E-mail: info@ichinoseki-shakyo.com